

2年連続で車椅子や義足のリペアブース出展 義肢装具学専攻の学生5人がボランティアで 【5月19日 第13回広島県障害者陸上競技大会】

広島国際大学（学長：焼廣益秀）の課外活動団体ASC（アダプテッドスポーツクラブ）に所属するリハビリテーション支援学科義肢装具学専攻の学生が、5月19日に広島県立びんご運動公園陸上競技場（尾道市）で開催される「第13回広島県障害者陸上競技大会」で、車椅子や義足の不調などに対応するリペアブースを昨年に続き出展します。

ASCは2016年の設立以降、学内体験会などを通じてパラスポーツの認知度向上を目指すほか、大会ボランティアの参加やパラスポーツ練習会の開催などにより、パラアスリートの支援を行っています。本取り組みにより、パラアスリートへの支援のあり方をより深く学びます。

そのほか、ASCに所属する理学療法学専攻の学生がトレーナーブースでの補助、医療福祉学科の学生らが大会運営の補助に当たります。



前回、リペアブースで車椅子を調整する様子（2018年5月）



パラスポーツ練習会で車椅子やり投げ用の土台を組み立てる部員

つきましては、概要をお知らせしますので、取材で取り上げていただきたくよろしくお願ひします。

.....【概要】.....

1. 開催日時：2019年5月19日（日）9：20～16：30
※リペアブースも同時間帯に出展
2. 場 所：広島県立びんご運動公園陸上競技場（尾道市栗原町997）
3. メンバー：【リペアブース】ASC 5人
【大会運営補助】ASC 14人、医療福祉学科 29人
【トレーナーブース】ASC 3人